
コロナ禍における婚姻・出生

2022年7月25日

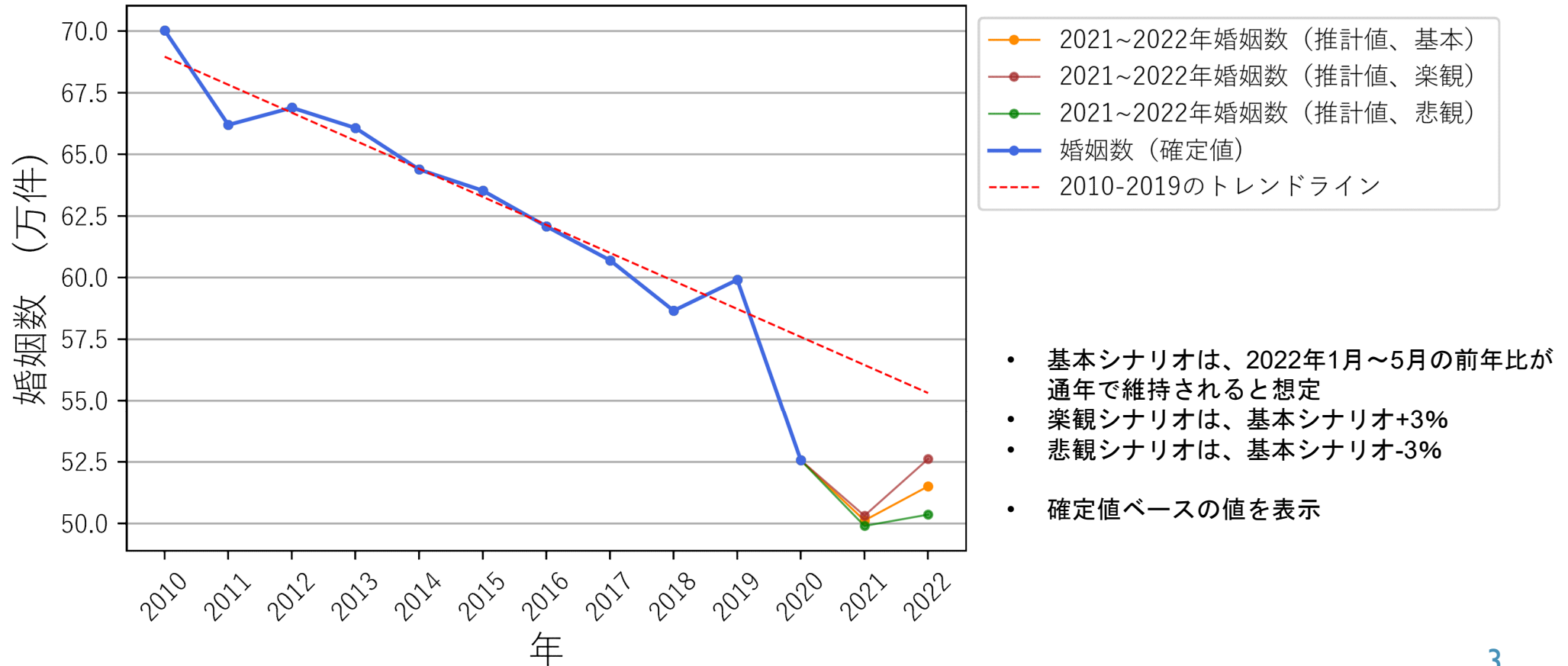
千葉安佐子（東京財団）
仲田泰祐（東京大学）

背景・分析

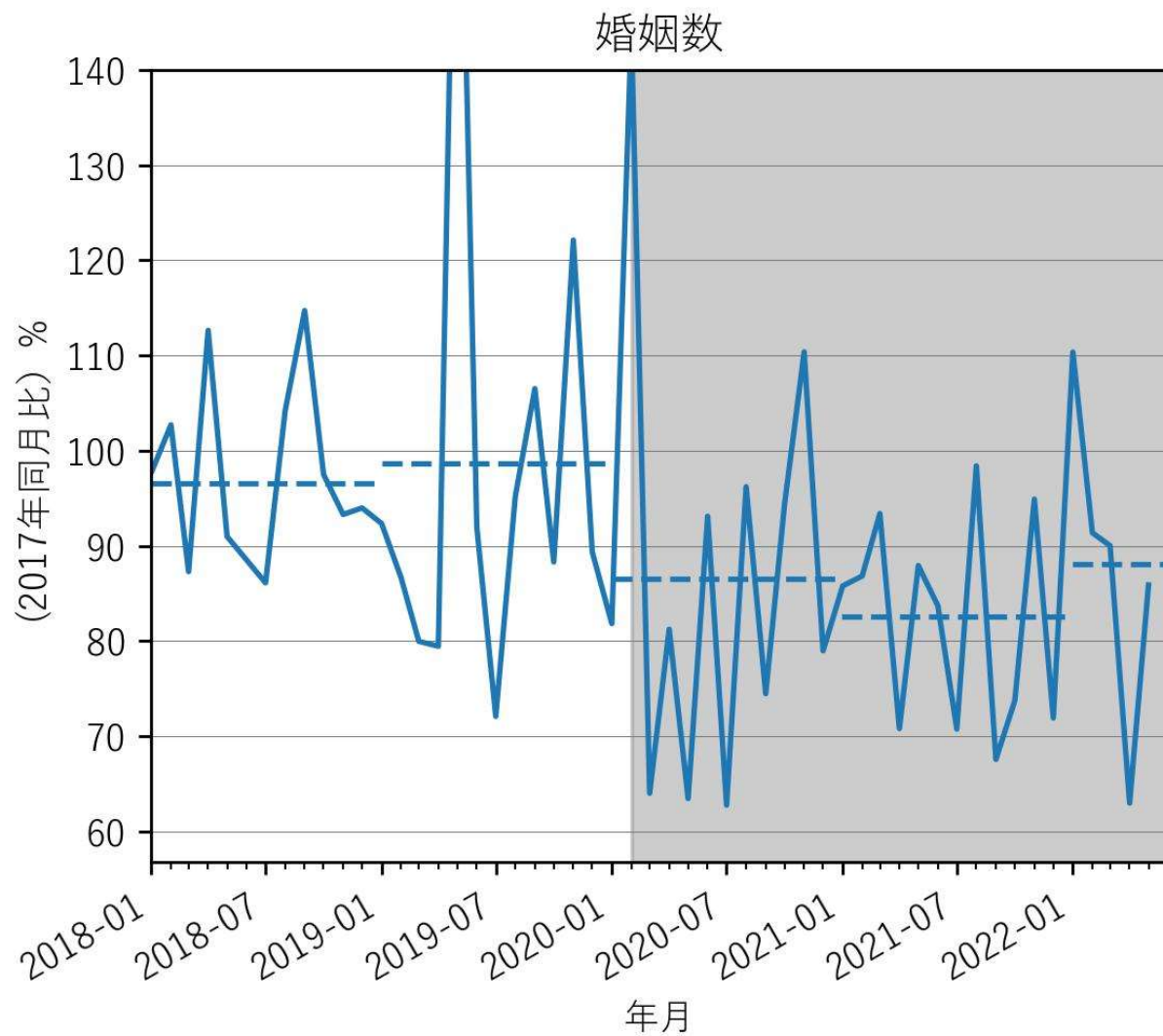
- コロナ禍での婚姻数・出生数の動向（2020年～2021年まで）
 - 『コロナ禍における婚姻・出生』（千葉・仲田、2022年3月1日）
 - https://covid19outputjapan.github.io/JP/files/ChibaNakata_MarriageBirth_20220301.pdf
- この資料では、新たに算出した2022年の推計値を踏まえて考察
 - データソース
 - 2020年までの人口動態統計（確定値）
 - 2021年1月から2022年2月までの人口動態統計（概数値）
 - 2022年3月から5月までの人口動態統計（速報値）

婚姻（年次推計）

婚姻数、2010 - 2022



婚姻（月次推移）



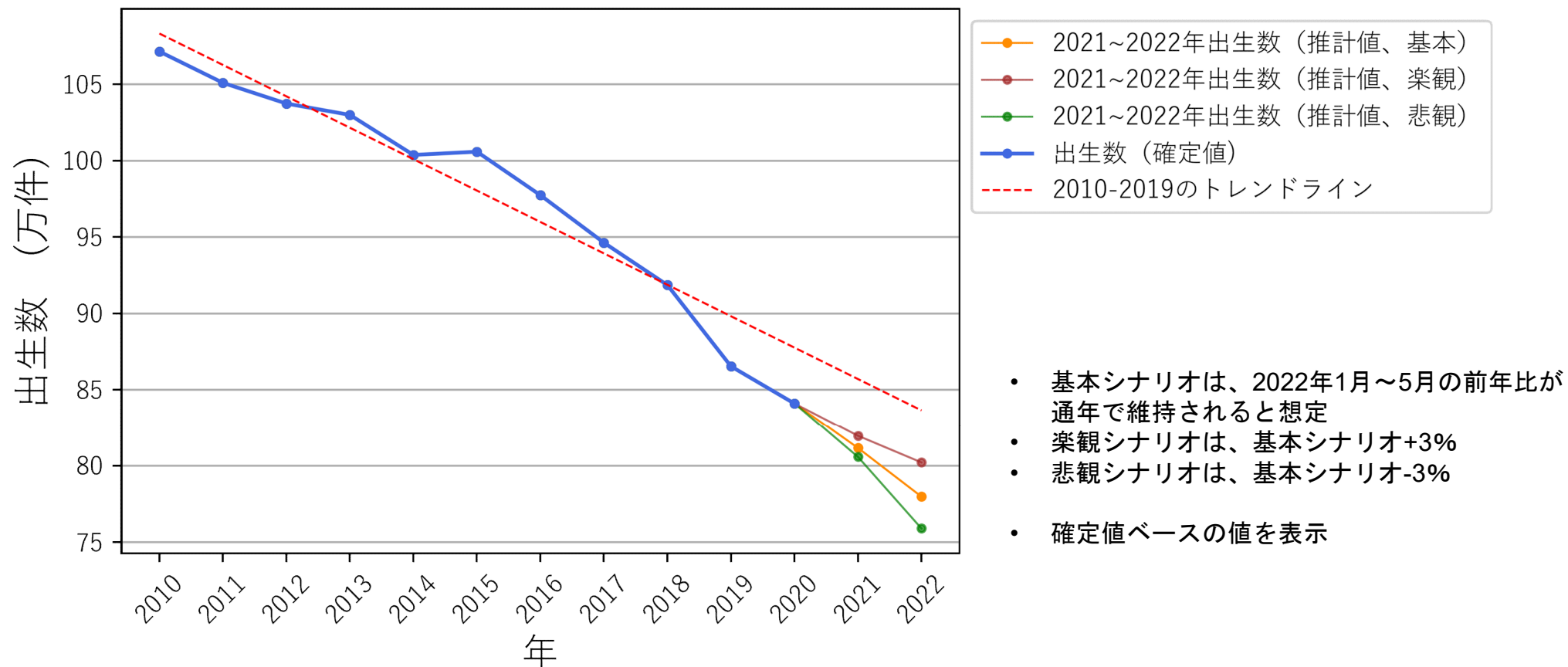
• 確定値ベースの値を表示

重要ポイント（婚姻）

- コロナ禍においては、トレンドを大きく下回る婚姻数
 - 2020年の婚姻数（確定値）は52.6万件（2010年からのトレンドラインを5.0万件（8.7%）下回る）
 - 2021年の婚姻数（推計値）は50.1万件（49.9万, 50.3万）（2010年からのトレンドラインを6.3万件（11.2%）下回る）
 - 2022年の婚姻数（推計値）は51.5万件（50.4万, 52.6万）（2010年からのトレンドラインを3.8万件（6.9%）下回る）
- 2022年は前年比増の兆しが見られるが、大きく増加した場合でもトレンドラインを下回る可能性
- コロナ禍で失われた婚姻数（推計値）：15.2万件（13.9万件, 16.5万件）

出生（年次推計）

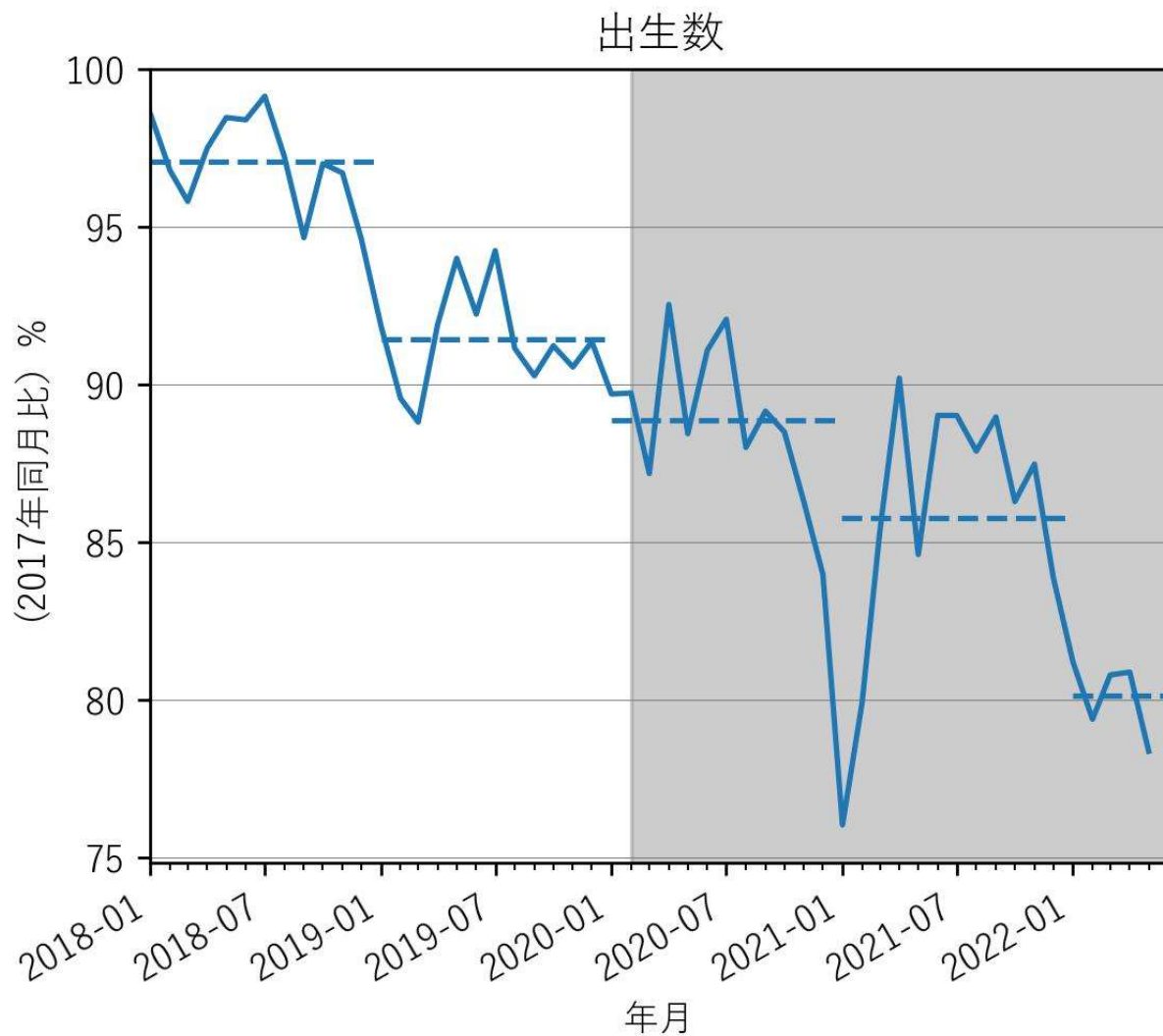
出生数、2010 - 2022



人口動態統計

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&toukei=00450011&tstat=000001028897>

出生（月次推移）



• 確定値ベースの値を表示

重要ポイント（出生）

- 2022年の出生数（確定値ベースの推計値）は基本シナリオでは約78万人
 - 2021年の出生数（推計値）は81.1万件（80.6万, 81.9万）（2010年からのトレンドラインを4.6万件（5.3%）下回る）
 - 2022年の出生数（推計値）は78.0万件（75.9万, 80.2万）（2010年からのトレンドラインを5.7万件（6.8%）下回る）
- 中長期的には、コロナ禍における婚姻数の減少が出生数の減少につながる可能性
 - 「コロナ禍で失われた婚姻」は約15.2万件。婚姻数の埋め合わせが無ければ「失われる出生」は約24.3万人

- Taisuke Nakata is supported by JSPS Grant-in-Aid for Scientific Research (KAKENHI), Project Number 22H04927, the Research Institute of Science and Technology for Society at the Japan Science and Technology Agency, COVID-19 AI and Simulation Project (Cabinet Secretariat), the Center for Advanced Research in Finance at the University of Tokyo, and the Tokyo Center for Economic Research.
- 過去・現在の政策分析と研究
 - <https://www.bicea.e.u-tokyo.ac.jp/>
 - <https://covid19-icu-tool.herokuapp.com/>
 - <https://covid19outputjapan.github.io/JP/resources.html>